

那覇 (R7) 構内外線路改修工事 # 2

件名	那覇 (R7) 構内外線路改修工事 # 2						図面番号	1/6
図名	表紙						作成年月日	
業務隊長	管理科長	営繕班長	電気係長	管財係長	工事企画係長	施設管理主任	工事企画係	作成者
所属	陸上自衛隊那覇駐屯地業務隊管理科							

仕 様 書

1 件 名：那覇(R7)構内外線路改修工事#2

2 場 所：沖縄県那覇市鏡水679 陸上自衛隊那覇駐屯地

3 概 要

(1) 構内外線路新設(屋内・外)	865m
(2) 分電盤新設	4個
(3) ハンドホール新設	13個
(4) AS舗装撤去・復旧	475㎡・405㎡
(5) 掘削・埋め戻し	604m ³ ・456m ³
(6) その他諸工事	1式

4 履行期間：契約締結日 ～ 令和8年3月31日

5 一般事項

- 本仕様書は、「那覇(R7)構内外線路改修工事#2」に適用する。
- 本仕様書に記載無き事項及び用語の定義については、以下によるものとする。
【国土交通省大臣官房官庁営繕部監修】
 - ・公共建築(改修)工事標準仕様書 (電気設備工事編) 最新版
 - ・公共建築(改修)工事標準仕様書 (土木工事編) 最新版
- 工事時期及び実施工程等は、事前に監督官と打合せを実施すること。
- 本工事の写真は着工前・施工中・竣工後及び監督官の指示する箇所を撮影し、工事完了後、隠ぺいとなる部分は、確実な写真管理を実施すること。施工完了後、A4判写真帳に整理して1部監督官へ提出するものとする。提出する写真については鮮明な写真を添付することとする。
- 工事の際、他の箇所に損傷を与えないように十分注意して実施し、万一損傷を与えた場合は、受注者の責任において、速やかに原形に復旧すること。
- 本仕様書及び工事に際し、疑義が生じた場合は監督官と協議の上実施すること。
- 施工中は、安全管理に十分留意し、事故等発生した場合は、速やかに監督官に報告するものとする。
- 本仕様に記載無き事項についても、当然施工すべき事項は、受注者の負担で実施する。
- 本工事で使用する材料は全て新品とし、監督官の検査を受けた合格品のみ使用する。
- 受注者は、毎日施工終了後に現場の整理整頓及び清掃を実施することとする。
- 受注者は、自衛隊敷地内への立入り及び敷地内での行動については、当該駐屯地の規則及び自衛隊関係者の指示を遵守して行うものとし、施工場所以外への立入りを禁止する。やむを得ず施工場所以外への立入りが必要な場合は、監督官等の許可を得るものとする。
- 本敷地内への立入りについては、事前に申請を行い、許可を受けた者のみ入場することができるものとし、申請に必要な書類を速やかに提出するものとする。
- 本工事で使用する電気・水道は、受注者で発電機・タンク等を用意し施工するものとする。

6 特記事項

- 共通
 - ア 本仕様書に記載する数量・寸法については、計画数量・寸法である為、施工前に計測等を行う。
 - イ 新設ハンドホールは、50mごとに設置するものとする。また、図面に記載がなく必要となる箇所がある場合は受注者負担で設置するものとする。
 - ウ 分電盤新設の際、アース線を新設し接地を確実に確保するものとする。
 - エ 壁面配線・配管は、取付金具で壁面に固定し設置するものとする。
 - オ プルボックス・防雨ボックス設置後・ハンドホール貫通口はコーキング等で防水措置を施すものとする。
 - カ 分電盤等新設後、絶縁抵抗測定等必要な点検を行い点検報告書を提出するものとする。
 - キ 縁石・排水溝等が進路上にある場合、撤去後既設物を使用し復旧するものとする。
 - ク 新設AS舗装は、再生アスファルト(JIS K2207に準ずるもの)・アスファルト乳剤(PK-3)・砕石(道路用砕石 JIS A 5001)を基準とし施工するものとする。。

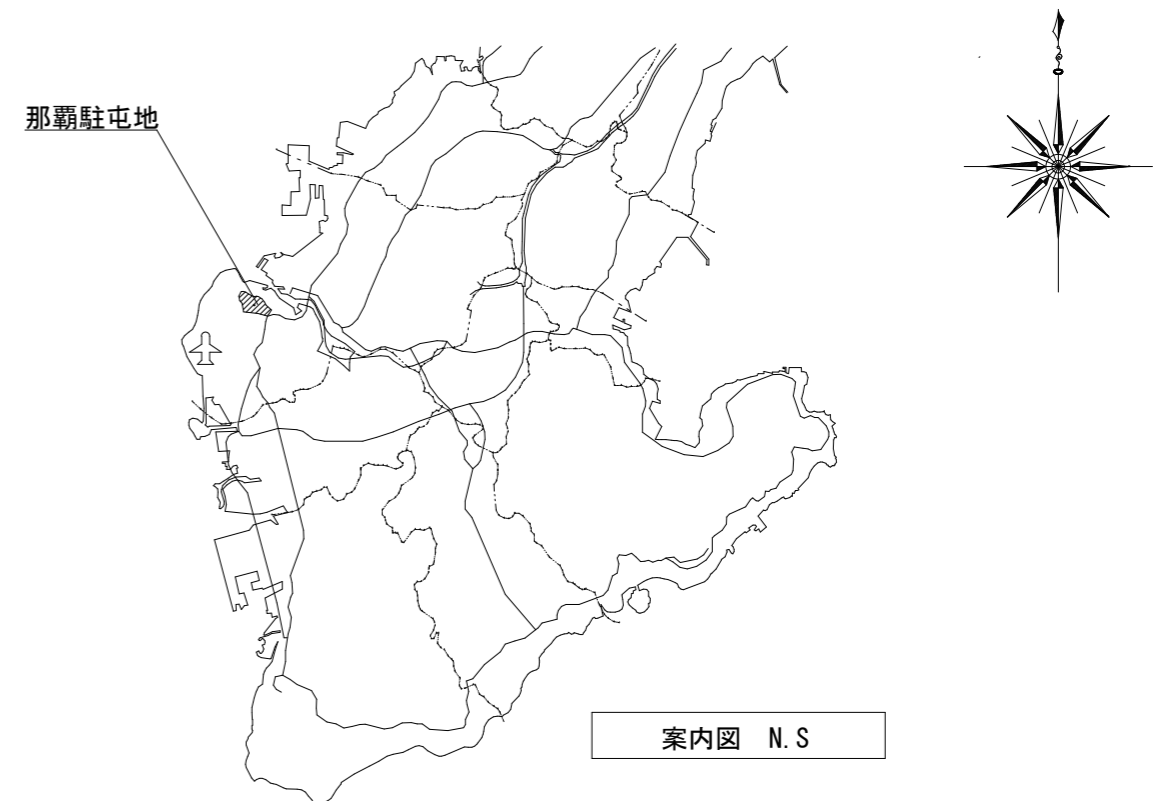
- ケ 仕様書に記載の施工に必要な諸資材は、受注者負担で用意するものとする。
- コ 掘削土は、監督官と調整し現場周辺に一時仮置きし埋め戻しの際利用するものとする。
- サ 本工事で発生する発生材は、関係法令に基づき請負者が処分するものとする。

(1) 施工場所①・②・③

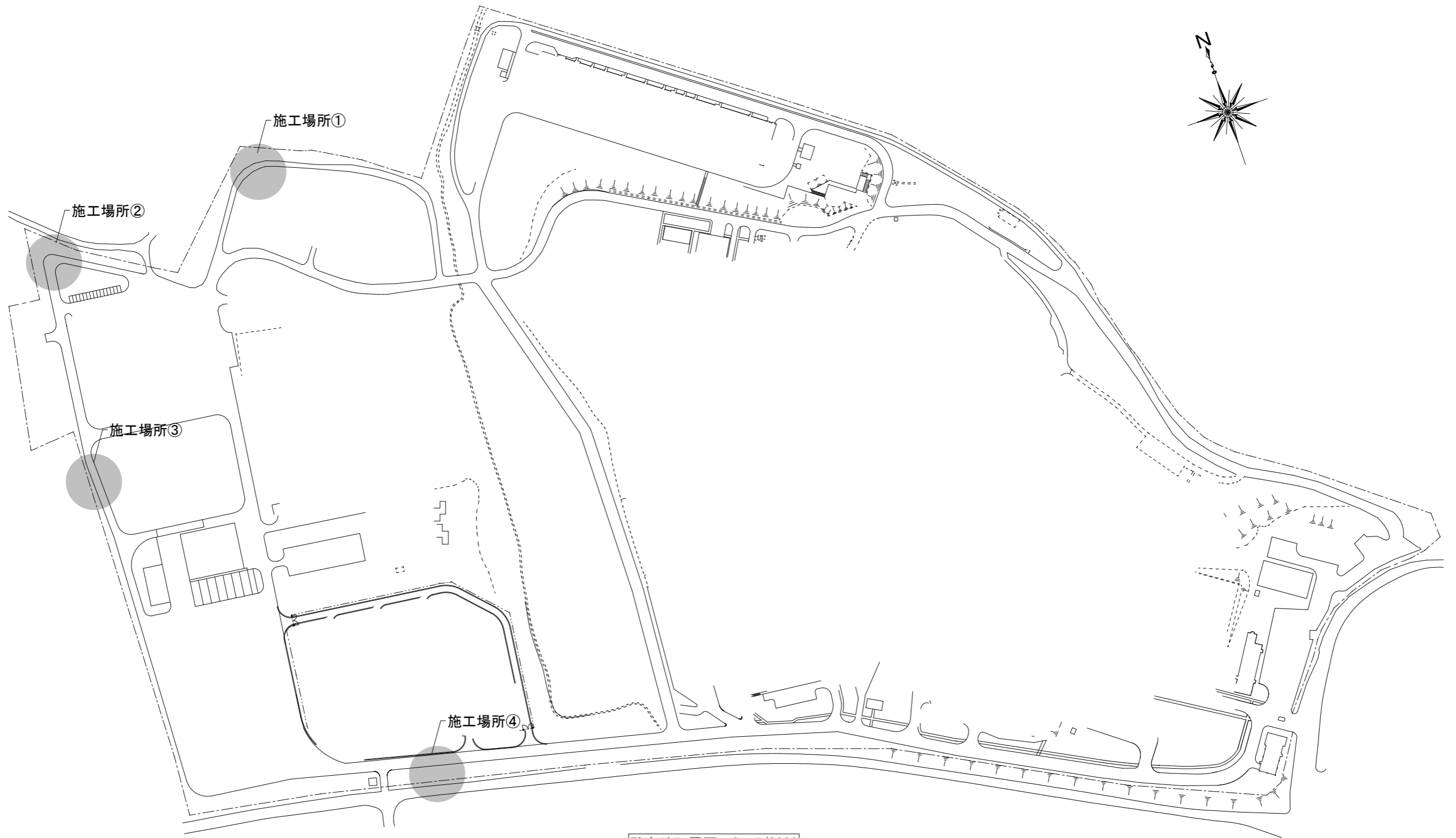
- ア 新設屋内配線路は、吊り金具等を使用し配線・配管を行いキュービクル式高圧受変電設備内にブレーカーを増設するものとする。
- イ ①②番配管路は、③番配線をハンドホールで分岐し各分電盤に配線するものとする。また、⑤番配線も施工場所②・施工場所③へハンドホール内で分岐し配線するものとする。

(2) 施工場所④

- ア 新設ハンドホール内で施工場所②・施工場所③へ分岐し配線するものとする。



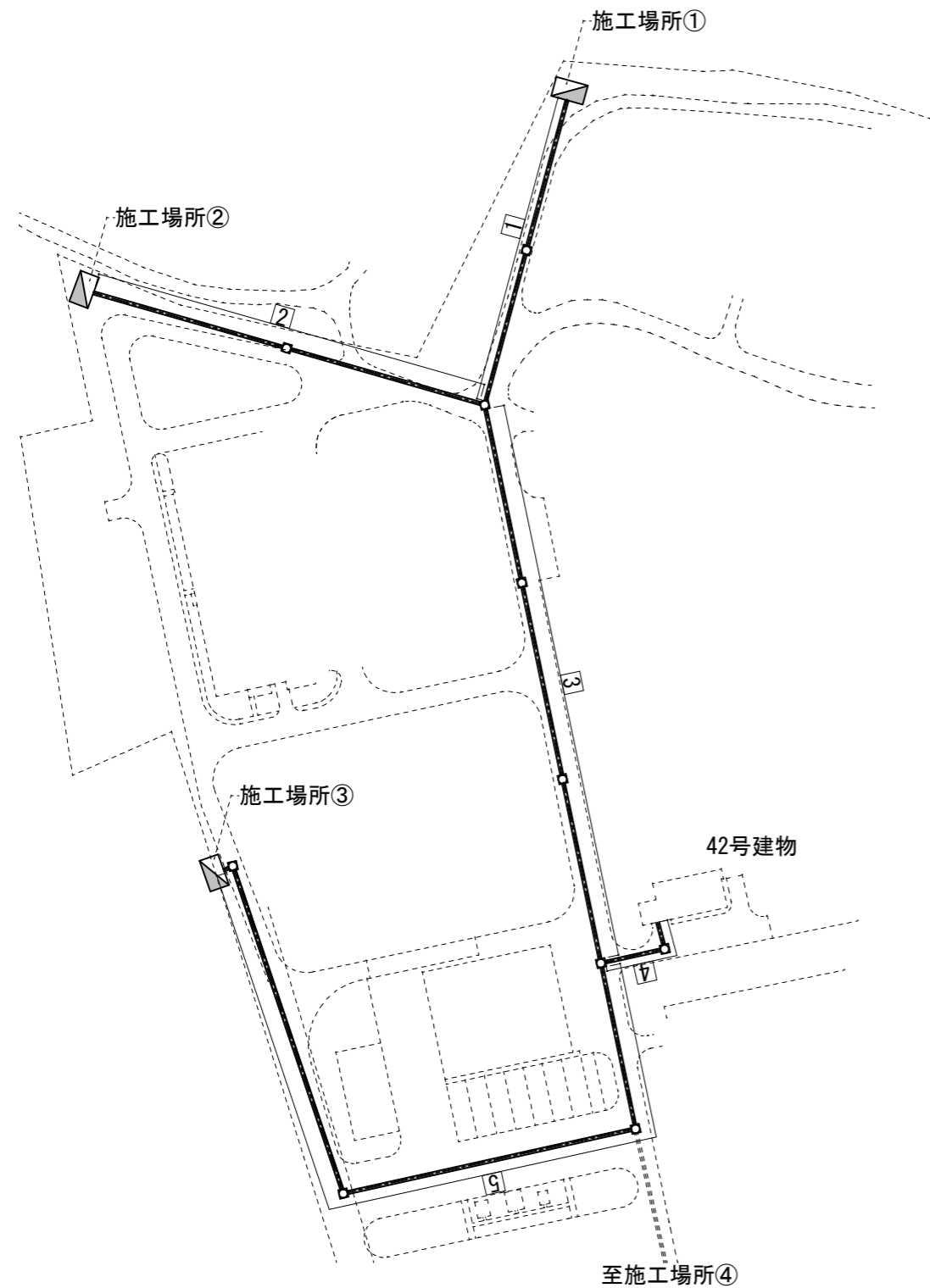
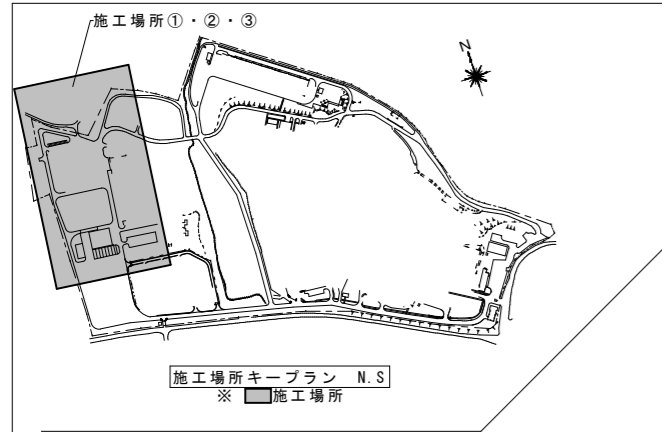
件 名	那覇(R7)構内外線路改修工事#2	図 面 番 号	2/6
図 名	仕様書・案内図	作 成 年 月 日	
所 属	陸上自衛隊那覇駐屯地業務隊管理科		



駐屯地配置図 S=1/3000

凡例： ● 分電盤設置位置

件名	那覇(R7)構内外線路改修工事#2	図面番号	3/6
図名	配置図	作成年月日	
所属	陸上自衛隊那覇駐屯地業務隊管理科		

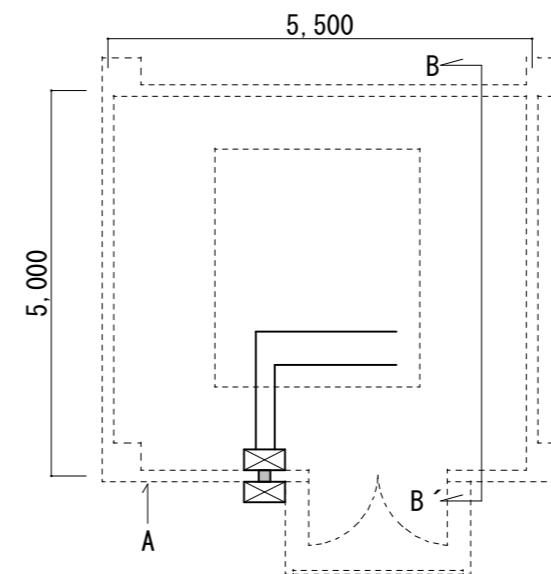


施工場所④・⑤詳細図 S=1/1,500

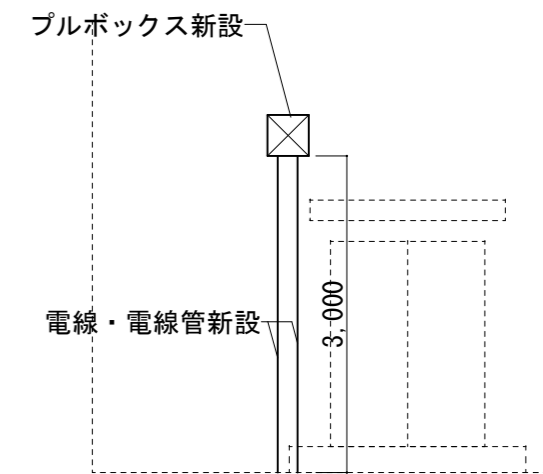
記号	撤去・復旧 (AS舗装)	撤去・復旧 (草地)	新設配管	新設ケーブル
1	100m		626m (GLT70)	626m (EM-CET100 [□] -3C)
2	100m	10m		
3	200m			
4	30m			
5	170m	10m		

※掘削部分は詳細図参照

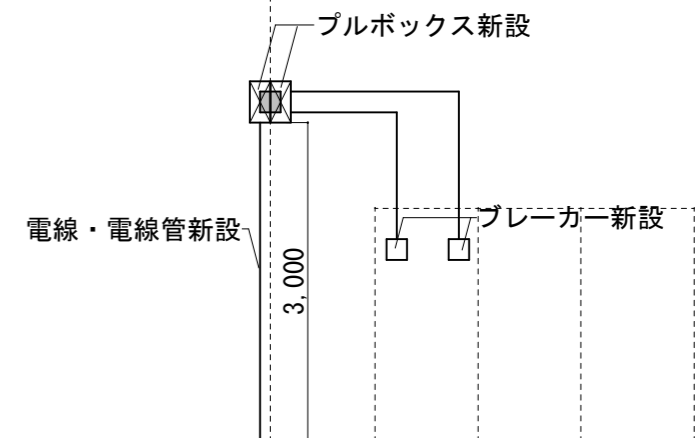
品名	規格等	数量
ハンドホール	1,200型程度 凡例:	10個
分電盤	詳細図参照 凡例:	3個
プルボックス	400×400×200 SUS 凡例:	2個
電線(屋内)	EM-CET100 [□] -3C (HIVE70)	7m
コア抜き	φ70 t=150mm	2箇所
ブレーカー	3P225A 漏電タイプ	2個



42号建物平面図 S=1/75
凡例: コア抜き箇所

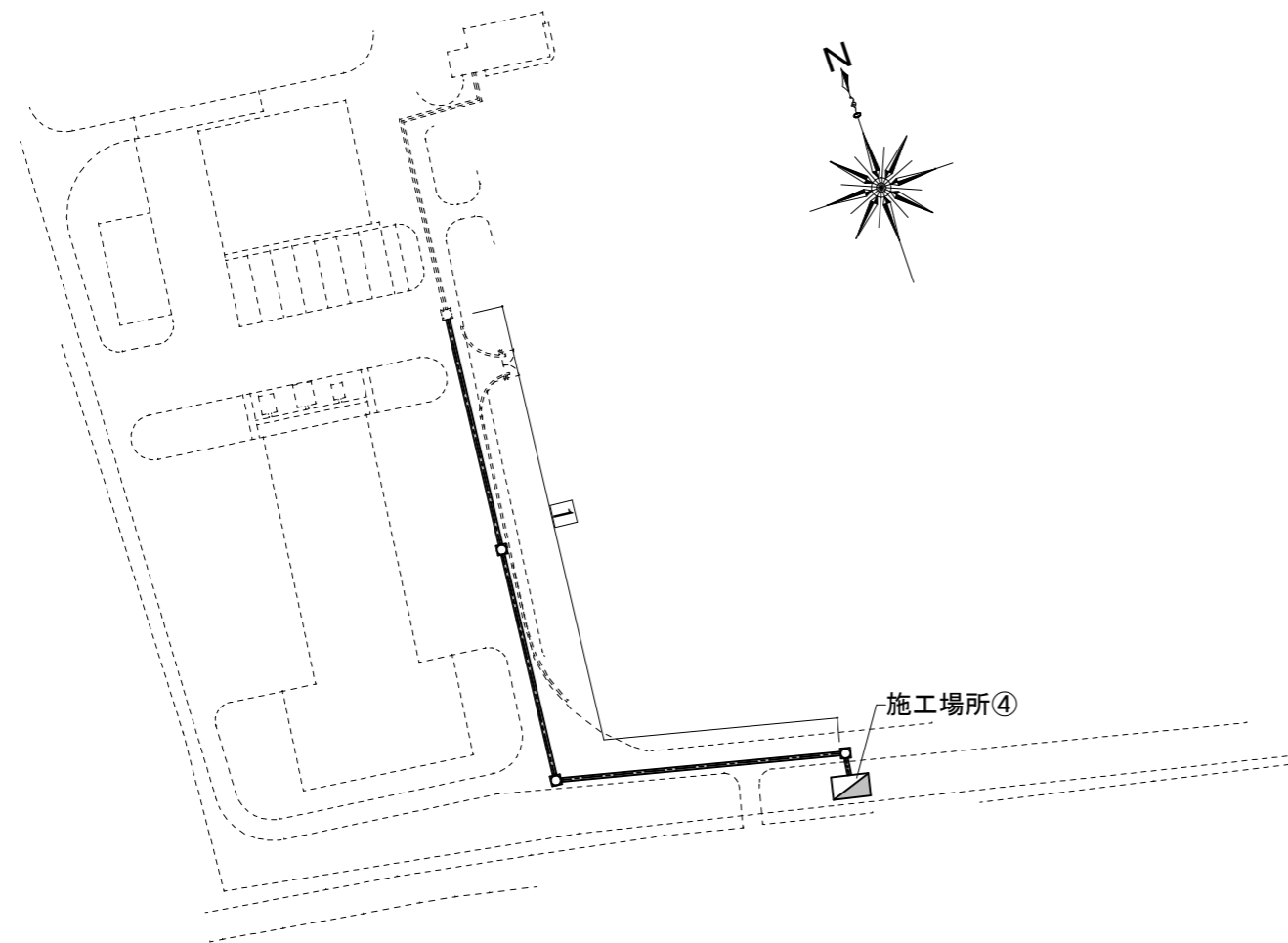
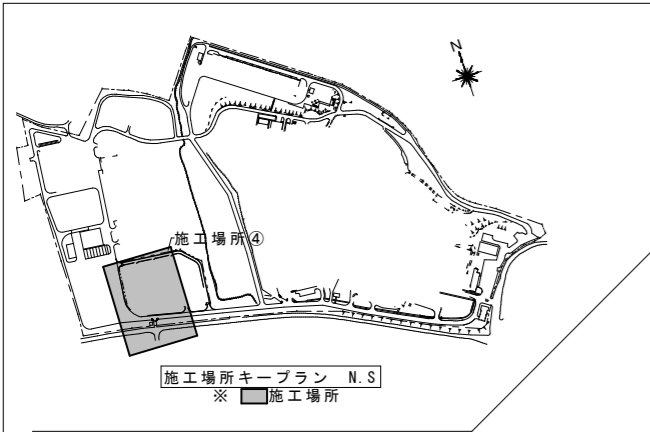


A面立面図 S=1/75



B-B'面断面図 S=1/75
凡例: コア抜き箇所

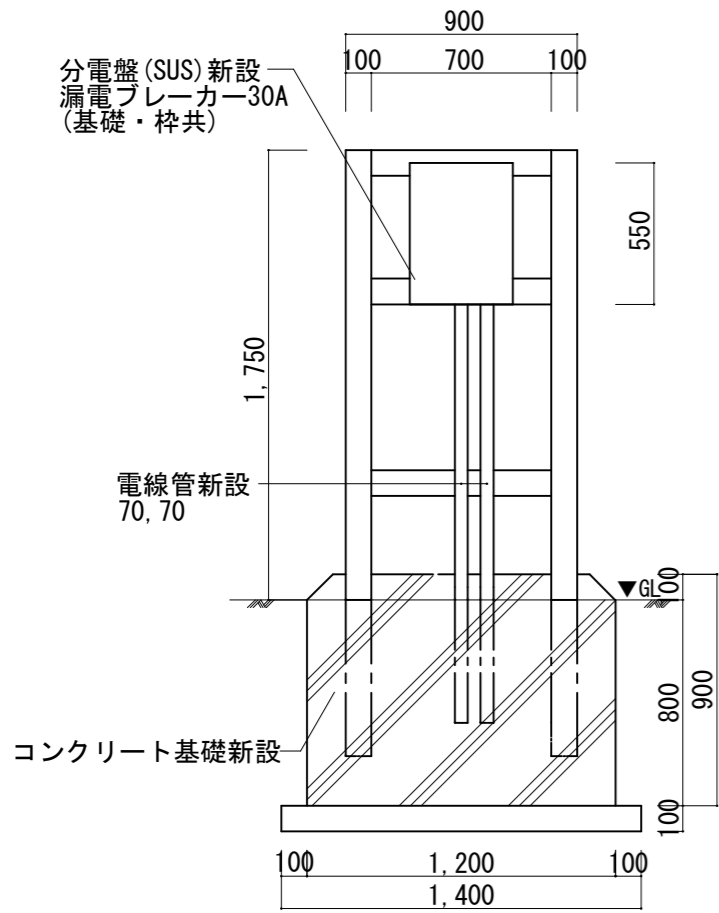
件名	那覇(R7)構内外線路改修工事#2	図面番号	4/6
図名	平面図・立面図・詳細図・断面図	作成年月日	
所属	陸上自衛隊那覇駐屯地業務隊管理科		



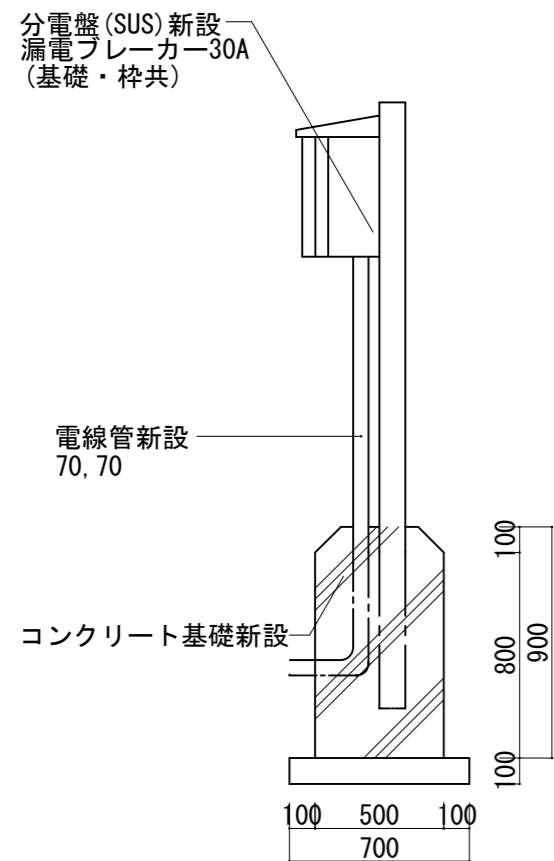
施工場所④詳細図 S=1/2,000

記号	撤去・復旧 (AS舗装)	撤去・復旧 (草地)	新設配管	新設ケーブル
1	230m		232m (GLT70)	232m (EM-CET100 [□] -3C)
※掘削部分は詳細図参照				
品名	規格等			数量
ハンドホール	1,200型程度 凡例: <input type="checkbox"/>			3個
分電盤	詳細図参照 凡例: <input type="checkbox"/>			1個

件名	那覇(R7)構内外線路改修工事#2	図面番号	5/6
図名	平面図・詳細図	作成年月日	
所属	陸上自衛隊那覇駐屯地業務隊管理科		

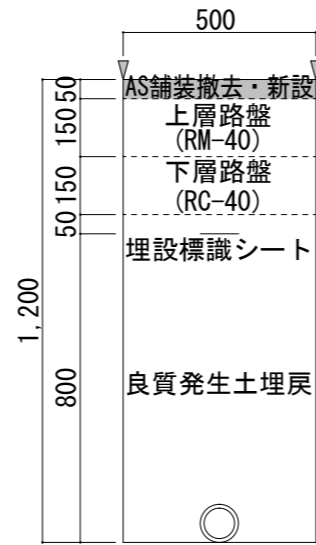


新設分電盤詳細図(正面) S=1/30



新設分電盤詳細図(側面) S=1/30

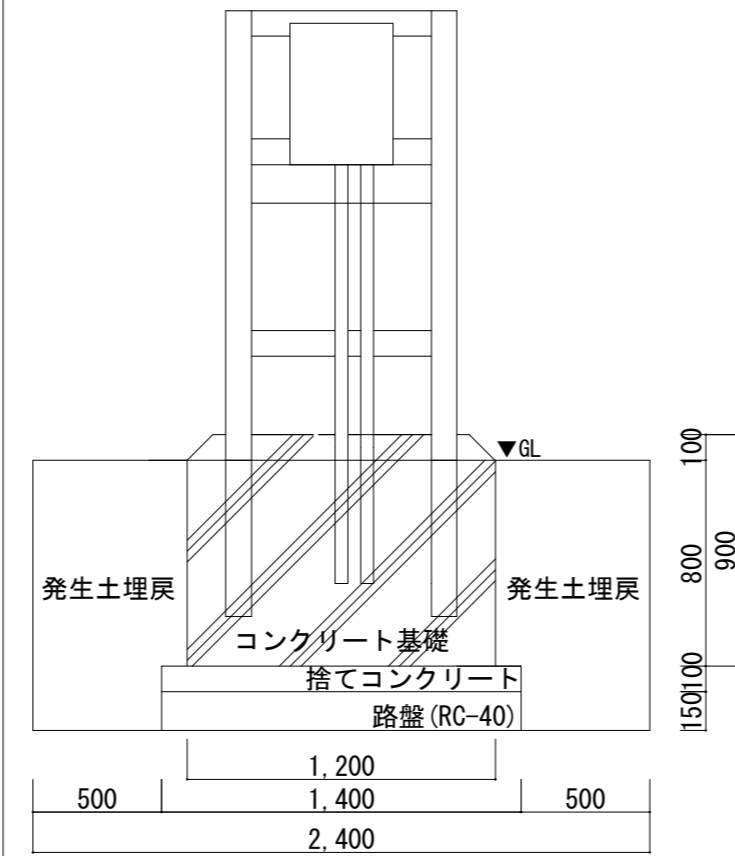
AS舗装部 標準掘削図 S=1/20



【撤去】ハンドホール部 標準掘削図 S=1/20

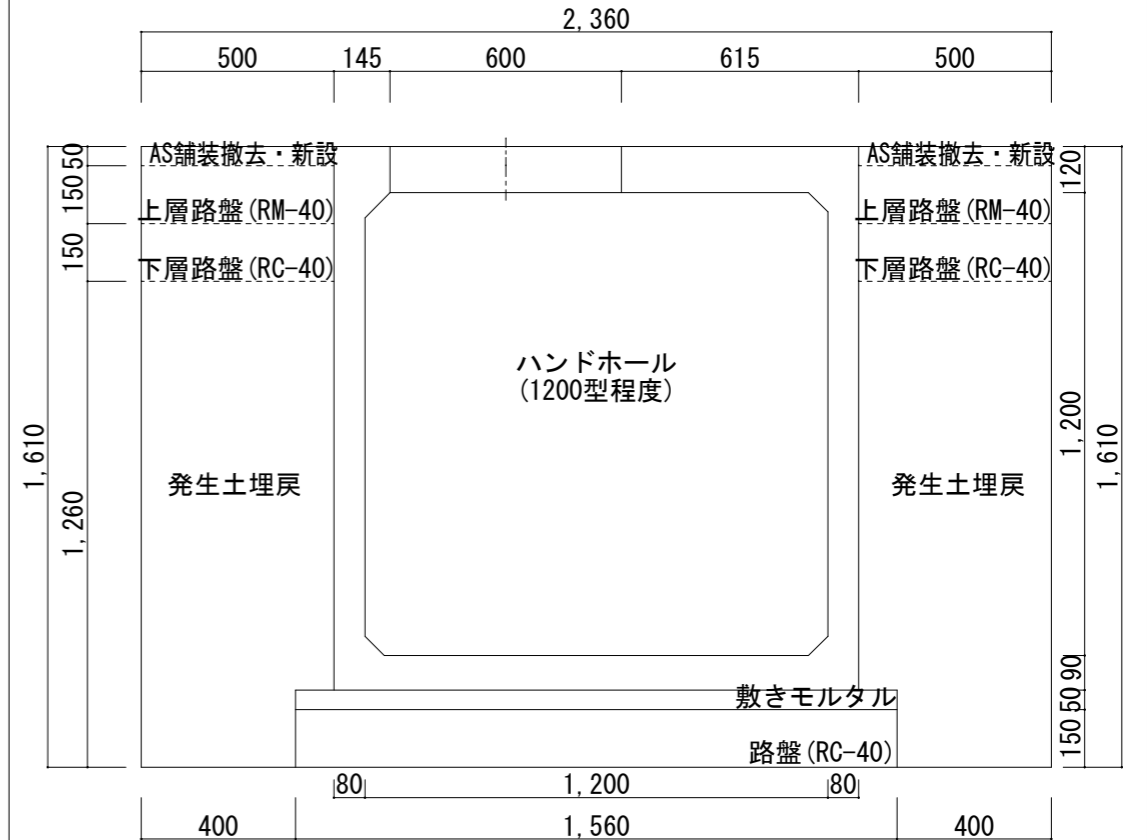


【新設】分電盤掘削図 S=1/30



※ t = 1,700mm

【新設】ハンドホール部 標準掘削図 S=1/20



件名	那覇(R7)構内外線路改修工事#2	図面番号	6/6
図名	各詳細図・掘削図	作成年月日	
所属	陸上自衛隊那覇駐屯地業務隊管理科		